米中関係の緊張と不均衡形成



VCG

株式会社日本総合研究所 呉 軍華 2019年2月5日



米中関係の現状:対立から対決へ



「ペンス演説」からの示唆

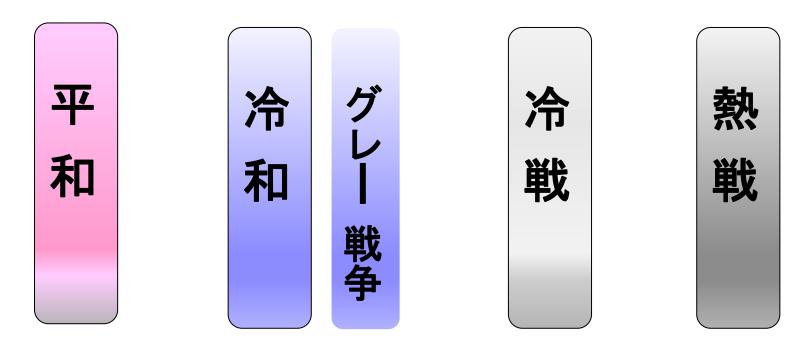
ニクソン政権以来の方向転換を宣告

対決は経済に限らず各分野を含む全方位的

中国人的・共産党的発想と論理を見据えた初のアプローチ

平和から戦争に至るまでの過程





US Navy must be able to compete in 'gray zone' conflict Competition below the level of conflict

-----米海軍作戦部長John Richardson大将, 2018年9月





なお「冷和」の段階



米中関係の変遷

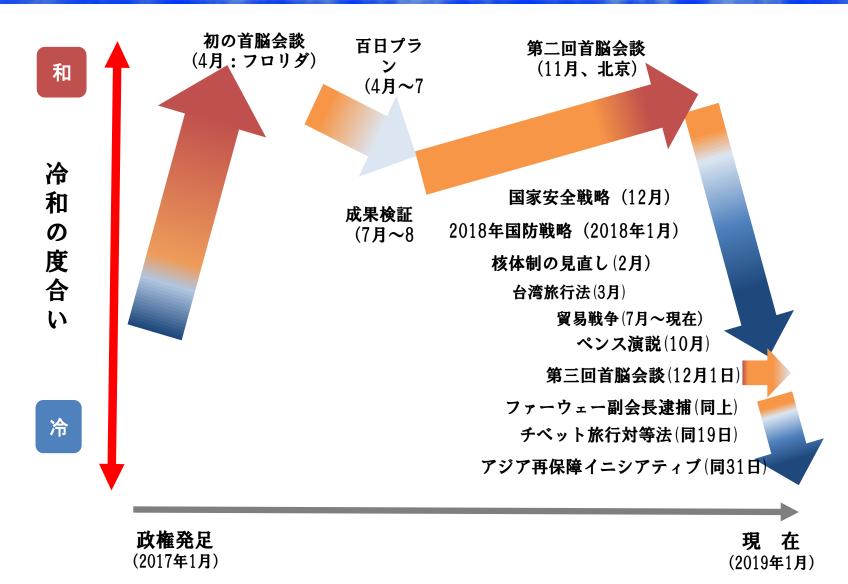
	冷戦時代	ポスト冷戦時代	現在	冷戦下の 米ソ関係
ホットの度合い	2	4	3	2
共通の価値観			×	
核の相互確証破壊				
経済的リンケージ	×			
共通の敵を有する		*	*	
コールドの度合い	3	1	5	8
覇権争い				
相手敵視の同盟の形成			×	
経済理念の対立				
軍事的対峙		*		
冷和の度合い	-1	3	-2	-6

注1:●はYes (数値2) 、▲は中立 (数値1) 、×はNo (数値0)

注2:冷和度=ホットの度合い-コールドの度合い

トランプ政権の対中政策の推移



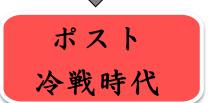


冷戦後:不均衡形成の時代



ポスト冷戦時代









民主主義 の高揚

グローバル化 の急進展

現在









価値観の 多様化

反グローバル化 のウネリ

民主主義:普遍価値から挑戦相手へ





神様のようになりたい

(写真:bing.com/images)

自由民主主義



神様のために何でもする (写真はjiji.com)



神様をそもそも信仰しない (写真はsh.people.com.cn)

不均衡を促すグローバル化



冷戦後のグローバル化

異なる価値観

国境なき

紛争解決メカニズムの形骸化

資本も人も市場もグローバル的



資本主義の逆戻り デモクラシーとの軋轢

日本の立ち位置



貿易戦争は米中全面競争の前哨戦に過ぎない

- ▶ 8月13日:トランプ大統領が国防権限法(NDAA)に署名
- ▶ 9月18日:米司法省が新華社と中国環球テレビに「外国代理人」に再登録
- ▶ 9月21日:米国務省が党軍事委員会装備発展部と李尚福部長に制裁
- ▶ 10月4日:ペンス副大統領が中国に関し演説
- ▶ 10月20日:IFN全廃条約から離脱…

Free, Fare, Reciprocalを基準に関係を見直し

米中競争は価値観の競争であり、経済理念の競争

もはや米中間の競争だけではない



ご清聴 ありがとうございました

